

県内企業に生産性向上とイノベーションを！ リスクリングでめざす環境変化への適応

広島県では、県内産業の生産性向上やイノベーション創出に向け、県内で働く人材のリスクリング推進を目的とした「リスクリング推進企業応援プロジェクト」を展開しています。近年急加速するデジタル技術の進展などの環境変化に企業が適応できるよう策定したこのプロジェクト。取り組みで見た課題やめざす姿についてお聞きしました。

行政DX通信note版ではさらに詳しい内容をお伝えしております



企業の実践を後押しする「リスクリング推進企業応援プロジェクト」

広島県では、2022年度より「リスクリング推進企業応援プロジェクト」をスタートしました。この事業は産業人材課リスクリング支援グループが中心となり、県内企業を支える人材が、デジタルリテラシーなど今後の新たな業務で必要となる知識やスキルを習得・活用することを目的として

います。県内企業の経営者が自社にとって今後必要になるスキルを整理し、補助金の活用も含めたリスクリングの具体策を行うための支援をしています。



広島県 商工労働局産業人材課
リスクリング支援グループ 主査
はま なか とし のり
中 俊典さん
2007年入庁。商工労働総務課、民間派遣、職業能力開発課等を経て、2022年より現職。



広島県 商工労働局産業人材課
リスクリング支援グループ 主任
もり かわ よし ひろ
森川 義弘さん
2019年入庁。働き方改革推進・働く女性応援課、経営革新課を経て、2022年より現職。

周知・知識の習得・制度構築の3本柱で進めるリスクリング

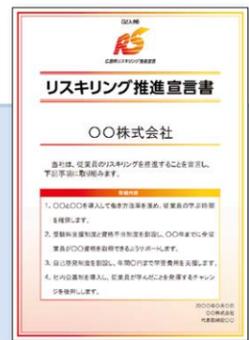
「リスクリング推進企業応援プロジェクト」を進める中で、今年度の事業方針として以下の3本柱を掲げています。

● 広島県の取り組みについて 令和5年度の事業方針(3本柱)

1 リスクリングの機運醸成

リスクリング推進宣言制度、セミナーや研修など

県内企業にリスクリングを周知し、ムーブメントを起こすことを目的としています。具体的には、企業がリスクリングの取り組みを自由に宣言できる「リスクリング推進宣言制度」の実施、そしてリスクリング実施において自社で何をすべきかを考えていただくセミナーや研修の開催です。「リスクリング推進宣言制度」は企業イメージや認知度の向上、県の各種支援制度を有効活用していただくことを目的としており、現在170社を超える企業に宣言いただいています。



▲ 推進宣言書例

2 デジタル基礎知識等習得支援

ITパスポート取得支援、人材開発支援助成金活用支援

県内の従業員の皆さんがデジタルリテラシーを身につけるため、ITパスポートの受験料などを補助しています。また国の制度である人材開発支援助成金の活用を希望する企業については、申請業務を外部委託する経費の支援も行います。

3 県内でのリスクリング推進体制の構築

広島県リスクリング推進検討協議会

公労使で構成する「広島県リスクリング推進検討協議会」にて、これからの社会で必要となるスキルの整理や、働きながら学ぶには企業にどういった仕組み・制度が必要なのかなどを考えています。今後は企業向けのガイドラインや行政が取り組むべき内容をロードマップ化することも視野に入れています。

リスクリングとは(県独自の定義)

企業等の経営戦略や人材戦略のもと、企業の主導によって、従業員が今後の新たな業務などで必要となる知識やスキルを習得し、活用すること。

リスクリングへの正しい理解を促し、企業の目的達成へつなげる

私たちがリスクリングの事業を始めた当初、県内企業の多くが「リスクリングって何？」という状態でした。新しい言葉が出る多くの方が「今までと違うことをしなければ」と思いがちですが、企業として人材育成に取り組むべきだという事実には何も変わりありません。その部分を正しく理解していただくため、経営者を対象としたセミナーを実施しました。

そうして徐々にリスクリングの重要性を広めつつ、「リスクリング推進宣言制度」を周知し、宣言をした企業は県のWEBサイトで紹介する取り組みを始めました。また、リスクリングの先にはDXや働き方改革といった大きな目的がある場合がほとんどなので、DXや働き方改革を所管する部署と連携しながら企業訪問や声掛けも実施しています。

企業DXワンポイント事例

補助金の活用で新たに1,300名がITパスポートに合格！

「リスクリング推進企業応援プロジェクト」の中でITパスポート取得の補助金を活用した企業からは、「ITパスポートの受験促進をする中で、デジタルリテラシーの重要性がわかった」という声をいただいています。特にデジタル技術が身近でない部署の従業員は、デジタルで何ができるのかわからないことも多いです。ITパスポートを学ぶとデジタルの専門用語が理解でき、自分たちの業務でデジタルを活用したらどうなるだろう、という視点が身についたのは大きな変化だとおっしゃっていました。

ITパスポート取得の補助金の2022年度における交付決定人数は約1,300名でした。2022年度に広島県の社会人でITパスポートに合格した方は約2,700名で、2021年度と比較すると補助金の交付決定人数とほぼ同じだけ増加しています。つまり、補助金の活用がITパスポート合格者の後押しとなったという大きな成果がありました。



リスクリングを一度で終わらせない！継続した周知と支援への熱い思い

2023年度を含めた2年間は、県内での機運醸成としてリスクリングの周知に重きを置いた事業展開を予定しています。リスクリングで学ぶ制度を作ったものの、社内の労働環境や評価制度などを整えなければ、企業の中で学びの風土は定着していきません。具体的にどんな社内制度を作るのか、また自社でこれから必要なスキルが明確化できていないなど、リスクリ

ングに対する困りごとや悩みに対応しながら、実践を支援するステージへと徐々に移行していきたいと考えています。リスクリングは一度実施して終わりではなく、次々と出る新しい技術に対応するためアップデートが必要です。県内企業が最新の情報にキャッチアップできるよう、私たちも常にアプローチ方法を最新化しながら支援したいと思います。